

○2学期が本日で終わります。

東稜祭から始まりました。昨年に続き公開で行われましたが、今年も実行委員や生徒会等を中心に皆さんの活躍で、成功裏に終了することができました。

○今学期部活動も頑張りました。弓道部が関東、国体で4位入賞、陸上部は関東、全国に出場しました。放送部も来年度の全国出場を決めるなど、例年並みの活躍が見られたのではないかと思います。また、その他の部でも、生徒数が減って部員確保が難しくなっていく中で、2回戦程度まで突破しているところもあり、頑張っていると思います。

私も、今年は、できるだけ多くの部の大会に応援に行きたいと思っていましたが、日が重なっていたりしてなかなか思うようにはなりませんでした。

これから3月までは、春に向けて力をためる時期です。運動部の2年生は引退まであと半年くらいですので、この冬良い練習をして過ごしてください。

○進路に関しては、3年生の3分の1は、推薦入試や就職試験を突破して進路が内定しました。これから受験の人たちは、センター試験に向けて、最後の追い込みで少しでも時間が欲しいという日々を送っていることと思います。1年生は、来年度に向けて文系・理系の選択をしました。2年生は、さらに具体的な進路に照準を合わせて科目を選択するということを今学期やってきました。全学年の皆さんにとって、自分の将来の方向性を決めていく大事な学期であったはずです。

○その他、修学旅行や遠足など大きな行事もありました。また、校外で学んだことも色々あったと思います。幼稚園実習、老人ホーム訪問、演奏会や展覧会への協力、秋祭りへの協力をはじめとする様々なボランティア活動等々、机の上では学べないことを学んだ人たちもたくさんいることと思います。また、外部コンクールでもたくさんの受賞がありました。

○私が今学期一番印象に残っているのは、10月から11月にかけて、一月ほど皆さんの授業の様子を見たことです。

私が授業を見るときには、できるだけ前の方からも見るようにしています。皆さんの仕草や表情をよく見ていると、よく分かってなさそうだとか、退屈して違うことを考えていそうだということも良く見えるからです。

○授業を見た感想を言います。まずは、素晴らしいと思った点から。

一番立派だと思うのは、授業態度が良いということです。午後の眠たくなるような時間になっても、きちんと授業を受けています。そして、先生の指示を良く聞いて、先生の意図、期待に応えようとしているのがよく分かります。ペアワークやグループワークなども良くできています。男女のワークになってもほとんど抵抗感が無いようなのも感心します。こういう様子は、他の高校の先生方に見せても、文句なしに素晴らしいと言ってもらえる良い点だと思っています。

○逆に、課題と思った点もあります。今日は皆さんをヨイショする場ではありませんので、この課題の方に力点を置いて話そうと思います。もちろん、きちんとできている人、できていない人、個人差が有りますので、全体的な印象でという話です。

先ほど、授業態度がよいと言いましたが、それはよく見ていると、先生の話をよく聞いて、きちんとノートをとってあればよくて、後は試験前にまとめて勉強しようというような様子にも見えました。

また、先生の指示を良く聞いてというのは、裏を返せば、主体的に学ぶという姿勢が足りない、受け身の姿勢が目立つということのようにも思えます。

例えば、良く理解している内容を、ただ聞き流して待っている。その間に、資料集を参照してプラスアルファの情報を収集しておこうとか、応用問題を眺めてみようとか、暗記用語の一問一答をノートに作ってしまおうということがあってもいいのではないかと思いました。逆に少し難しい問題になると、考えようとせず、先生が解説して黒板に書いてくれるのを待っている人も多いように思います。

これは、先生が教えてくれる内容が自分のレベルに合っているかということも関係するので、一概に皆さんだけの責任ではありませんが、教える方は1人ですから、教室の中のあるレベルの人たちに合わせた授業をせざるを得ません。ですので、授業が易すぎたり、難しすぎたりする人は、何らかの工夫が必要なのではないかと思えます。

○もう一つ強く感じたのは、予習が足りないのではないかということです。特に英語と数学です。全体的に予習しているかいないかで授業のレベルが全く違ってきます。予習していなければ、教科書に書いてあることに時間をかけてやらなければなりません。すると、きちんと予習している人は予習をする気がなくなってしまう。ここが、進学校かそうでないかの決定的な違いではないかと思えます。予習をしていない人は少しでもよい

からやりましょう。短時間でもいいですからパラパラと開いて、分からないことをメモしておく。それが授業で解決できるかどうかを試してみる、それを続けるだけでも違ってくると思います。

○授業を見ての課題をお話ししてきましたが、要するに、この時間にもものにする、少しでも難しいところまでできるようにしておこうという迫力の問題かと思います。しかし、3年生は違いました。この時間に何でも吸収しようという気迫があります。学年が上がるに連れて、真剣さが高まるように思いましたが、きっと3年生は、もっと早く気づけば良かったと思っているのではないかと思います。

○3年生になると変わるところを見ると、1、2年生はまだまだ余裕があるのではないのでしょうか。東高は、勉強勉強と言われずにゆったりと楽しく生活できるから入るという人がいます。しかし、その理解は間違っています。本校は、樂ができる学校ではなくて、勉強以外も一生懸命にやって、人間的にもバランスよく成長しようという学校です。人間的にも魅力のある生徒を育てたい、私はそう思っています。

色々なことをやろうと考えると、勉強に割ける時間は限られています。1日6時間ないし7時間ある授業の過ごし方を改めて考えてほしいと思います。

○先生方の授業のやり方を見ていますと、一つ一つ指示の意図をはっきりと感じる(教員側から見てですが)素晴らしい授業もありました。本校の先生方の授業の力は本当に素晴らしいです。でも授業は、先生だけが一方的に作るものではありません。半分は皆さんの向き合い方で変わるものだと思っています。

○私が今日何を伝えたいかまとめますと、授業を受けたときに、「この授業は頭を使いすぎて疲れた」という状態がありますよね。私は、このような授業の受け方を理想としています。そして、先生方にもそういう授業をやってもらえるようお願いしています。もし、まじめに本気でやっているのにそういう感じになっていない人がいましたら、この休みにどうしたらそうなるだろうかと考えてみてください。

○それでは、有意義な冬休みとなるよう過ごしてください。特に、3年生は、試験までの計画を立てて、焦らずにやれることを着実にやっていただきたいと思います。頑張ってください。